
 本會記事

本會年會 5 月 4、5 兩日東大天文學教室にて參會者延 100 名の多數の出席の下に盛大に行われた。講演數は 56 に達し、全國からの活潑な研究が發表され、熱心な討論が行われた。尚講演の全貌は本誌次號に年會特集號として紹介されるはずである。

(55 講演のみ集録されています。また旧字体が完全には再現されていません。[2014 年 7 月])

1. 島村福太郎 (氣象研究所)・目分量讀取りの精度について
2. 島村福太郎 (氣象研究所)・現代日本天文學史年表の編集
3. 神田茂 (小田原高校)・江戸時代の天文記録
4. 山本一清 (田上天文臺)・On Political Astronomy
5. 藤波重次 (京大)・球面と非球面とを組合せたカセグレン型鏡系について
6. 上田穰・藤波重次 (京大)・禮文島日食の中心線について
7. 塚本裕四郎 (海上保安廳)・日食時における水平線俯角の變化について
8. 佐伯恒夫 (田上天文臺)・火星の極冠に関する研究
9. 神田茂 (横濱國立大)・氣候の長年周期變化とその原因
10. 齋藤馨兒 (日本天文研究會)・蛇遣座流星群について
11. 広瀬秀雄・富田弘一郎 (東京天文臺)・東京天文臺に於ける流星の寫眞觀測 (I)
12. 植前繁美 (緯度觀測所)・朔望の近似計算について
13. 須川力 (緯度觀測所)・ラジオゾンデの資斯を用いた天文屈折について
14. 神田茂・村山定男 (日本天文研究會・國立科學博物館)・篠ヶ瀬隕石について
15. 池田徹郎・後藤進 (緯度觀測所)・ワンシャフ天頂儀の試験觀測について
16. 高木重次・切田正實・村上源吉 (緯度觀測所)・水澤における子午儀觀測について
17. 切田正實 (緯度觀測所)・水準器の氣泡に對する光の影響
18. 後藤進 (緯度觀測所)・時刻觀測に於ける key error について
19. 辻光之助・伊藤さや子 (東京天文臺)・同時觀測による相對個人差
20. 服部忠彦 (緯度觀測所)・浮遊天頂儀のスケール常數について
21. 弓滋 (緯度觀測所)・恒星視位置計算についての考察
22. 鈴木敬信 (海上保安廳)・恒星の視位計算に現れた年末差について
23. 関口直甫 (東京天文臺)・Chandler 週期潮の地球自轉に及ぼす影響
24. 須川力 (緯度觀測所)・地球の三軸不等による自由章動週期の延長について
25. 服部忠彦 (緯度觀測所)・章動常數に對するロス項の影響
26. 中野三郎 (東京天文臺)・月の子午線觀測について
27. 宮地政司 (東京天文臺)・精密時計比較装置
28. 宮地政司 (東京天文臺)・緯度變化について
29. 浦太郎 (東大)・トーラスの上の特性曲線について
30. 秋山薫 (日本醫大)・小惑星ヒルダの秤動週期
31. 神田茂 (横濱國立大)・佐久間精一 (日本天文研究會)・1949 年の長周期及び不規則變光星の觀測極大、極小
32. 下保茂 (東京天文臺)・變光星の寫眞觀測
33. 大澤清輝 (東京天文臺)・掩蔽の光電觀測 (II)
34. 大澤清輝 (東京天文臺)・太陽周縁部の輝度分布
35. 村上忠敬 (廣島大學)・星間流星體の漂動について
36. 古畑正秋 (東京天文臺)・流星のレーダー觀測 (第 2 報)
37. 古畑正秋 (東京天文臺)・黄道光の偏光について
38. 畑中武夫・鈴木重雅・守山史生 (東京天文臺)・200Mc 太陽電波の觀測
39. 海野和三郎 (東大)・干渉偏光フィルターの温度効果について
40. 高窪啓彌 (東大)・太陽コロナの連續光について
41. 宮本正太郎・服部昭 (京大)・閃光スペクトルに

おける吸収線の輝線への轉換について

42. 上野季夫 (京大)・閃光スペクトルに於ける連続光譜の消失について
43. 末元善三郎 (東京天文臺)・フラウンホーファー線の equivalent width の測定
44. 末元善三郎 (東京天文臺)・弱い吸収線の縁邊効果
45. 石津太郎 (京大)・太陽の董外スペクトルについて
46. 藤田良雄 (東大)・二三の低温土星の温度に就いて
47. 鈴木義正 (京大)・惑星状星雲と新星
48. 海野和三郎 (東大)・惑星状星雲の輻射壓について
49. 宮本正太郎 (京大)・星状星雲の輻射場について
50. 高瀬文志郎 (東京天文臺)・恒星系における fluctuate する力の場の強さの確率分布について
51. 成相秀一 (東北大)・Cosmological Application of Birkhoff's Relativity Theory
52. 清水疆 (地理調査所)・近距離星の空間運動 (IV)
53. 清永嘉一・地球内部構造に関する試論
54. 清永嘉一・銀河系外星雲の集團について
55. 鏑木政岐 (東大)・銀河系の膨張について (IV)